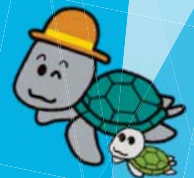
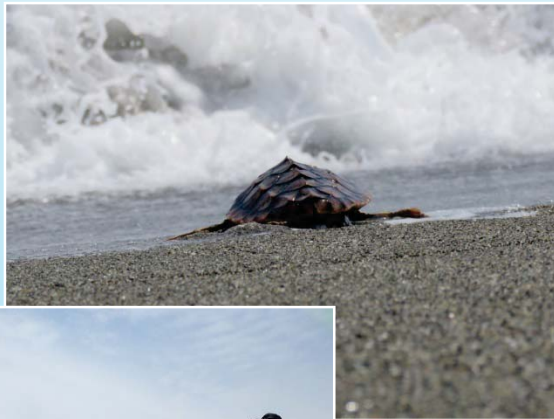


# アカウミガメの採卵保護を行いました

## 高知市立春野東小学校

高知市春野町戸原 令和2年6月17日(水)

高知市立春野東小学校の4年生が、ウミガメ保護活動をしている「春野の自然を守る会」の熊沢さん指導の下、アカウミガメ(以下、ウミガメ)の採卵保護を行いました。



▼春野東小学校の児童は、二班に分かれて清掃活動を行いました。  
先に着いた第1班は採卵の前に海岸の清掃をしてくれました。  
砂浜にはペットボトルや空き缶などが打ち上がっていました。



▼第2班のみんなも採卵後に海岸の清掃をしてくれました。  
プラスチック容器や食品トレーなども回収してくれました。



▼短い時間でしたが、たくさんのゴミが集まりました。  
明日はこのゴミを使って小学校で勉強をする予定だと教えてくれました。  
きれいになった海岸に、またウミガメが産卵してくれるといいですね！

▼小学校で約1年間飼育をした2匹のウミガメを放流しました。

海に向かっていくウミガメに「がんばれー!」「あともう少し!」と何度も声援を送り、みんなで見守りました。2匹はほぼ同時に海へ帰っていきました。海へ帰った後もウミガメの姿が見えなくなるまでみんなで見送りました。



▼2匹を見送ったあと、採卵保護が始まりました。  
熊沢さんと高知大学の学生さんが慎重に砂を掘っていきます。

卵が見えると「すごいー！」「初めて見た！」と大きな歓声が上がりました！



▼今回は107個の卵を採卵しました。  
保護した卵は、小学校のふ化場に移設します。

最後に熊沢さんや高知大学の学生さんたちにお礼をして、ウミガメの採卵保護は無事終了しました。



▼春野東小学校4年生の皆さんは、これから約2ヶ月間、ふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、子ガメの誕生を楽しみにお世話を頑張ってください。